

平成17年10月12日

土木学会鋼構造委員会 小委員会活動報告

小委員会名 (分科会名)	ケーブル系橋梁の合理化 検討小委員会	委員長 (分科会長)	北田俊行	連絡幹事	奥井義昭
活動予定期間	平成13年11月～平成18年5月(終了予定)				
活動の目的	<p>以下の項目を主要テーマとして取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルの安全率の見直し エクストラロード橋と斜張橋間のケーブル安全率のギャップを無くし、合理的なケーブルの安全率を決定する方法について検討した。 ・経済的あるいは独創的で新しいケーブル系橋梁の検討・開発 ケーブルを用いた、より合理的な、あるいは柔らかな景観を醸し出すケーブル系鋼橋を開発した。 ・安価でより合理的なケーブルおよび定着構造の検討・開発 ケーブルおよび定着構造のさらなる合理化を目指した検討を行った。 ・活動の成果として単行本を出版することとし、本小委員会の成果(鋼橋編)に加え、PC橋編を作成しケーブル系橋梁の総合的な参考書となることを目指して原稿の作成を行った。 				
これまでの活動状況	<p>前回の鋼構造委員会から現在までの委員会・WG開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単行本出版に向け、PC橋編のメンバーを加えた拡大小委員会をH17.6.7(第1回)およびH17.9.9(第2回)に開催した。 <p>全ての委員会・WGでの主な審議内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動成果の出版についての方針を小委員会により決定した。 ・出版原稿についての審議を中心に小委員会を開催した。 ・鋼橋とPC橋のケーブル安全率、各種限界状態の整理を行い、問題提起およびその解決方法の提案を単行本に盛り込むよう検討を行うこととなった。 				
今後の活動計画と目標とする成果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度第1回(5/20)の鋼構造委員会で、単行本出版し、講習会を開催した後に小委員会を終了することとなった。 ・次回の小委員会(11月29日)の開催に向け、原稿案を作成し、最終原稿の打ち合わせを行う。 ・年内に最終原稿を完成させ、年度内に単行本出版を行う。 ・参加者が見込める来年度4～5月に講習会を行い、5月の鋼構造委員会での報告を持って小委員会を終了とする。 				
その他					